



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502

石川県羽咋市の場町松崎24番地

TEL (0767) 22-1220

FAX (0767) 22-5598

<https://www.hakuihp.jp/>

新年度 ご挨拶



春の陽気に包まれ、桜の開花の便りも聞こえています。WBCで、日本が優勝と、嬉しいことが続いています。

3年前からの新型コロナウイルス感染症については、石川県だけでなく、全国的に数が少なくなり、国の方針も、マスクは推奨から自己判断となり、5月8日に感染症としての扱いも2類から5類に変更予定となっています。羽咋病院においても、これまで色々な対応をしてきました。スタッフ一同の努力、患者さん&ご家族の協力のおかげで、大規模クラスターの発生無く、過ごすことが出来ました。非常に感謝しています。

すでに、5月8日を待たず、町中に国内外の観光客があふれ、マスクをされている方も減っています。新規感染患者は、少なくなったとは言え、ゼロになっていません。また、当初と比べて重症化率は減りましたが、感染を契機に基礎疾患が悪化し、命取りになる方がおられます。病院には、感染に対する弱者が少なくなく、クラスターを避けねばなりません。今後も状況に応じた対応を続けます。引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

行政からの要請もあり、5月以降もコロナ対応体制を続けることとなっています。また、ワクチン接種の継続も予定しています。感染症の動向から対応の見直しが図られることと思います。重症化リスクと考えられる基礎疾患を有する方・医療関係の方は行政から接種券が届きましたら（また、行政に請求）、接種をご考慮いただけますようよろしくお願い申し上げます。

さて、羽咋病院においては、定期的に設備を更新しています。今年、高額医療機器については、私の専門領域である、血管造影装置の更新を予定しています。また、複数年をかけて、内視鏡室・栄養部等の増改築を予定しています。引き続き、信頼される病院を目指して、努力を続けていきます。

令和5年度が、皆様方にも良い年になることを願っております。

院長代行 五十嵐 厚

新任職員紹介

よろしく
お願いします



内科医長 おぐら ひさゆき
小倉 央行

血液型・星座：A型 てんびん座
趣味：とくになし
専門医：認定内科医、リウマチ
専門医、(腎臓専門医？：
そろそろ発表です)

今年度より赴任してまいりました小倉央行と申します。主に腎臓内科を専門にしております。新しい環境に早く慣れ、羽咋の皆様の力になれますよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



内科医長 すぎやま げん
杉山 紘

血液型・星座：O型 みずがめ座
趣味：音楽鑑賞・料理
専門医：内科専門医

はじめまして。ご縁があり羽咋病院勤務となりました。患者さんやご家族、それを支える医療スタッフの皆さんと協力しながら診療にあたりたいと思っております。専門は消化器内科です。よろしくお願い致します。

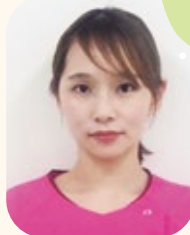
新任職員紹介つづき



診療放射線技師 **つ い り き**
筒井 力輝

血液型・星座：O 型 おうし座
趣味：野球

皆様に安心・安全な医療をお届けできる診療放射線技師になります。



臨床工学技士 **くろさき あん な**
黒崎 杏奈

血液型・星座：A 型 おひつじ座
趣味：料理、ネットショッピング

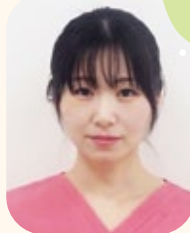
地域医療に貢献できるように自分らしく精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



看護師 **う え さ か ゆ り な**
上坂 百合菜

血液型・星座：AB 型 しし座
趣味：映画鑑賞

患者さんに信頼される看護師になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



看護師 **ほ り た み さ と**
堀田 実里

血液型・星座：A 型 しし座
趣味：Netflix

地元の羽咋市で働けて嬉しいです。地域の方々の力になれるように頑張ります。よろしくお願いします。

出前講座に行ってきました

令和5年2月7日・2月20日に、「医療用麻薬の取り扱いと基本的な使い方」という内容で、志賀町富来地区にある介護医療悠悠で講義をさせていただきました。医療用麻薬は、その使い方や取り扱い方がきちんと法律で定められています。それらの内容の講義を聞いた介護員からは、「正しく取り扱うことができるのだろうか」と不安の声も聞かれました。しかし、講義終了後には、「どんなくすりでも正しく使うことが大切だと学んだ」という意見も聞かれました。薬を使い痛みをとることが目的ではなく、患者さんの生活の質（QOL）を高めることが最終目的です。

今回の講義の内容を踏まえ、それぞれの学びを通して、痛みやつらさを抱えた患者さんが安心して薬を使用していき、施設のコンセプトでもある『悠々自適』に、のんびり、ゆったりした生活が過ごせたらと思いました。

がん緩和ケア認定看護師／外来主任看護師

岡部 明代



地域との連携

病院機能分化推進委員会、 開放病床運営委員会

当院では、地域医療機関等の緊密な連携を推進するために病院機能分化推進委員会、開放病床運営委員会を年2回開催しています。

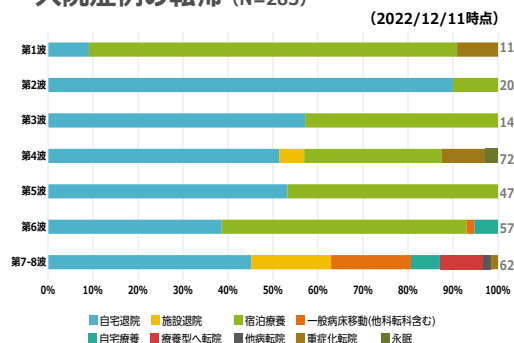
去る1月16日に、内科医長兼感染制御室長であります西野隆平医師がこれまでのCOVID-19感染の取り組みについて発表しました。内容は、①当院のCOVID-19入院体制構築について②入院患者の特徴から見るCOVID-19診療の変化③COVID-19対応の今後についてです。

第6波までのような社会全体での強力な感染抑制策が終了し、基礎疾患を有する高齢者の感染、罹患が常態化、他疾患で入院する際、偶発的にCOVID-19罹患が判明する事例の増加や、高齢独居や介護困難といった社会的要請による入院事例の増加があったことが発表されました。

医療サービス推進室 室長 山中 由貴子



入院症例の転帰 (N=283)

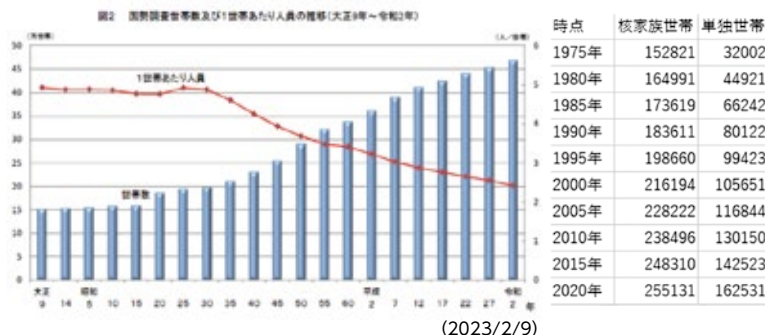


多くの患者が元的环境に戻っているが、第7波以後は転帰が多彩

低ADL、基礎疾患多数の高齢者が主体であり
COVID-19だけでなく併存疾患の治療が必要

行政病院連絡会報告

人口、世帯数の推移



2月9日に羽咋郡市の健康福祉行政担当者と、病院担当者間での連絡会を開催しました。「身寄りのない患者の退院支援を考える」というテーマで、今増えつつある「おひとりさま」への支援を検討しました。入退院にかかる課題や、連携できるポイントを共有し、地域全体で支えていくことが重要と確認し合いました。どんな人も安心して過ごせる地域を目指して、今後も連絡会で協議を重ねていきます。

医療サービス推進室 社会福祉士
井上 麻有子

事業所・病院連絡会 報告

2月16日「医療依存の高い患者さんの在宅療養を考える」をテーマに事例検討を行いました。意見の中には、『患者さんが自宅に戻って何をしたいのか、どう過ごしていきたいのかを丁寧に聞き取るところから始める』との言葉が聞かれました。

これは医療依存の高い低いに関わらず、どの患者さんにも通ずるもので、支援の核となるものだと思います。基本を大事にしつつ、柔軟に個別対応できるよう支援を行っていききたいと思います。

医療サービス推進室 西井 寿文



連携介護保険事業所 紹介

みなさん、こんにちは。介護センター眉丈園です。当事業所では、加齢や病気によって支援が必要になった方に、住み慣れた自宅や環境で今後も住み続けられるよう支援しています。

今後の生活の設計図を共につくっていくイメージです。その設計図はケアプランと呼ばれます。

大切にしていることは“ご本人を知り、その想いを大切にする”ということ。「高齢だから…」「病気だから…」と諦めていることはありませんか？超高齢社会、独居世帯の増加、ご病気等、様々な課題がありますが、ご本人を中心にご家族や地域のつながりを大切にしたチームケアで、その方の望む暮らしを実現するお手伝いをしております。

羽咋病院に隣接し、昭和56年に開設した特別養護老人ホーム眉丈園やデイサービスに併設した事業所となります。介護に関する相談は随時受け付けております。どうぞお気軽にご連絡ください。

法人本部 居宅部 課長 長谷川 憲子



介護センター眉丈園

住 所：羽咋市の場町稲荷山出口26-2

電 話：0767-22-5262

事業所種別：居宅介護支援事業所



羽咋郡市広域圏消防本部 救急隊員実習受け入れについて

3月16日に羽咋消防署の救急隊員4名の実習を受け入れました。下記は実習生の感想です。

- 実際の患者さんへの処置や手術を見学したことで、今後の現場へ向かうまでの間にイメージしやすくなり、落ち着いた応急処置ができるのではないかと感じました。
- 我々救急隊が病院に搬送する際に、病院側では搬送されてくる傷病者の病歴、内服薬の報告が重要になることがわかりました。
- 印象に残ったのは、看護師や医師の方々が患者に応じて言葉を柔らかくしたり、大きな声で話したりするなど使い分けており、かける言葉の一つ一つに優しさを感じたことです。
- 看護師の方々からは「消防から病院、一つのチームとして頑張りましょう」との言葉を頂いた。我々のように救急救命士以外の隊員も、救命における重要な役割を担う事を自覚し、引き続き研鑽に努める。



ふるさと自慢

私の故郷は、長崎県です。たくさんの島があることが特徴で、NHKの朝ドラでも有名となった五島列島もあります。東シナ海に面しており、沖縄に負けないくらい海がきれいなことが自慢です。また、教会もたくさんあり、特にクリスマスシーズンには、それぞれが工夫を凝らしたライトアップをしているため、幻想的な光景が身近にあります。長崎市内にもおいしい卓袱料理や名所があり、特に長崎の夜景は日本三大夜景にもなるほど。是非、コロナ禍が落ち着いたらのんびり訪れてみてはどうですか。心洗われますよ。

感染制御室 主任看護師 磯見 英美



教会の中



長崎の夜景

令和5年度小児科外来担当医予定表

	月	火	水	木	金	土 (第2、第4)
午前	藤澤	石田	岡田	石田	多賀	石田
午後	三井	石田	—	石田	—	—

ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若輩会の皆様
- ♥ 園児の絵 西北台保育所
とき保育園



テーマ
あわあそび

テーマ
さくら



季節の
写真

これまでの感謝の気持ちや、新たに旅立つ人生の門出を祝う気持ちを込めて、お祝いに花束を贈る人が多いと思います。

ピンクのバラには「感謝」オレンジのバラには「絆」「信頼」の花言葉があります。

花束に色々な想いをこめて花を選んでみると良いかもしれません。

撮影・文：主任理学療法士
大西 公亮